



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場取引所 東 大

上場会社名 山崎製パン株式会社

コード番号 2212 URL <http://www.yamazakipan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 吉田 輝久

TEL 03-3864-3110

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	703,395	2.4	18,243	△9.6	18,784	△8.7	8,372	49.0
23年12月期第3四半期	686,791	△0.5	20,191	1.1	20,582	1.0	5,618	△36.3

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 9,874百万円 (84.1%) 23年12月期第3四半期 5,365百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	38.13	—
23年12月期第3四半期	25.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	618,677	257,992	38.4
23年12月期	633,858	252,388	36.6

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 237,838百万円 23年12月期 231,926百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	—	—	15.00	15.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	953,000	2.2	28,700	0.1	29,700	0.3	12,400	54.5	56.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	220,282,860 株	23年12月期	220,282,860 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	752,363 株	23年12月期	721,675 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	219,546,341 株	23年12月期3Q	219,592,174 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 販売実績	10
4. 参考資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要もあり国内需要は底堅く推移しましたが、海外経済の減速や長引く円高の影響もあり、景気は足踏み状態となりました。

当業界におきましては、デフレ状況が続く市場環境の下でお客様の節約志向が強まり販売競争が激化するとともに、8月から9月にかけての全国的な猛暑の影響による売上の伸び悩みもあり、厳しい経営環境となりました。

このような情勢下にありまして、当社グループは製品の品質改善と新製品開発に積極的に取り組むとともに、低価格帯への製品対応を強化するなど、市場動向に即応した部門別製品施策、営業施策を推進してまいりました。

また、4月に輸入小麦の政府売渡価格が平均15%引き下げられたことを受けて、7月から小麦粉の値下げが実施されましたが、当社グループは、これに対応し7月1日出荷分から主力製品の規格改定を実施し、品質とおいしさの向上をはかるとともに、一部製品については価格改定を実施し、競争力の強化をはかりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は7,033億95百万円（対前年同期比102.4%）、営業利益は182億43百万円（対前年同期比90.4%）、経常利益は187億84百万円（対前年同期比91.3%）、四半期純利益は83億72百万円（対前年同期比149.0%）となりました。

昨年は東日本大震災後のパン類の需要急増を背景に品種数の絞込みを行い対応いたしましたが、当期においては平常に戻り、販売競争が激化するなかで物流費等の販売経費の増加や電力料金の値上げなどの収益圧迫要因が生じたこともあり、営業利益、経常利益とも前年同期を下回りました。四半期純利益につきましては、前年同期において東日本大震災関連費用や資産除去債務の過年度分を特別損失に計上したこともあり、前年同期の実績を大幅に上回りました。

セグメント別の状況

<食品事業>

食品事業の主要製品別の売上状況は、次のとおりであります。

①食パン部門（売上高710億26百万円、対前年同期比100.2%）

食パンは、7月の粉価改定以降、販売競争が一段と激化する厳しい状況となりましたが、ヤマザキの技術力を結集した中心価格帯の新製品「ロイヤルブレッド」や低価格帯の「モーニングスター」がお客様の好評を得て売上に寄与するとともに、高価格帯においても「ダブルソフト」の売上が回復し、前年同期の売上を確保することができました。

②菓子パン部門（売上高2,428億29百万円、対前年同期比102.9%）

菓子パンは、品質の優位性を背景にフル価格帯の製品施策を推進し、ミニパンの薄皮シリーズなど主力製品が伸長し、好調な売上となりました。また、「ランチパック」が主力製品の拡販と価格帯別の対応強化により伸長するとともに、新技術を用いたハードロールの新製品「ヴィエノワーズミルク」が売上増に寄与しました。

③和菓子部門（売上高482億80百万円、対前年同期比100.5%）

和菓子は、串団子・大福などの和生が堅調に推移するとともに、新製品の「玄米パン」など加温を要しない即食タイプ製品の寄与もあり中華まんの売上が伸長しました。

④洋菓子部門（売上高815億28百万円、対前年同期比101.0%）

洋菓子は、量販店向けの2個入り生ケーキが大きく伸長するとともに、「大きなツインシュー」などのシュークリームが順調に推移しました。また、不二家洋菓子店の増加やコンビニエンスストア向け製品の充実強化もあり、㈱不二家の洋菓子事業が好調に推移しました。

⑤調理パン・米飯類部門（売上高884億82百万円、対前年同期比107.6%）

調理パン・米飯類は、主要取引先のコンビニエンスストアチェーンの売上が好調に推移したことや取引店舗数の拡大もあり、㈱サンデリカを中心に売上が大幅に伸長しました。

⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高 1,144 億 22 百万円、対前年同期比 101.8%）

製菓・米菓・その他商品類部門は、(株)不二家の「カントリーマアム」、ヤマザキ・ナビスコ(株)の「リッツ」や「オレオ」、(株)東ハトの新製法のポテトスナック「あみじゃが」が伸長しました。

以上の結果、食品事業の売上高は 6,465 億 69 百万円（対前年同期比 102.6%）、営業利益は 173 億 52 百万円（対前年同期比 91.7%）となりました。

<流通事業>

(株)デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、コンビニエンスストアチェーン間の競合激化により既存店売上が伸び悩むなか、直営店のフランチャイズ化による直営店売上の減少もあり、営業総収入は 507 億 29 百万円（対前年同期比 99.9%）となりました。収益面では、新店開発、既存店改装に伴う賃借料や情報インフラ投資等の減価償却費の増加もあり、営業損失は 5 億 6 百万円（前年同期は 2 億 28 百万円の営業損失）となりました。

<その他事業>

その他事業につきましては、売上高は 60 億 96 百万円（対前年同期比 106.6%）、営業利益 8 億 99 百万円（対前年同期比 100.7%）となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は 6,186 億 77 百万円で、前連結会計年度末に対し 151 億 80 百万円減少しました。流動資産は 1,924 億 98 百万円で、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に対し 114 億 32 百万円減少しました。固定資産は 4,261 億 79 百万円で、有形固定資産の減価償却が進んだこと等もあり、前連結会計年度末に対し 37 億 48 百万円減少しました。負債合計は 3,606 億 84 百万円で、前連結会計年度末に対し仕入債務や借入金等の減少もあり、207 億 84 百万円減少しました。純資産は 2,579 億 92 百万円で、利益剰余金が 49 億 22 百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に対し 56 億 3 百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は 38.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、わが国経済は足踏み状態を脱し、早期に回復軌道に復することが期待されますが、欧州経済に加え中国をはじめとする新興国経済にも減速傾向が広がるなか、景気の先行きは不透明感が強まるものと思われまます。

当業界におきましても、消費に陰りが見えはじめ低価格化が進む市場環境のもとで、販売競争が一段と激化することが予測されます。

このような状況下にあります、当社グループは、「芳醇」をはじめとする主力ブランドの更なる品質向上を実施して競争力の強化をはかるとともに、品質訴求による主力製品の取扱い拡大につとめ、売上向上をはかってまいります。

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績に基づき今後の経営環境等を勘案し、平成24年2月14日発表の平成24年12月期通期の連結業績予想を次のとおり修正いたします。

これまで業務執行体制として生命の道の教えに従った部門別製品施策、営業施策、小委員会による「なぜなぜ改善」を行ってまいりましたが、ますます厳しくなる経営環境、変化を続ける市場環境の中で、生産部門・営業部門一体となった業務執行体制を更に充実強化し精度の高い業務執行体制を実現するため、部門別製品戦略、営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」に改め、一層市場動向に即応した業務執行体制を築き上げ、部門別業務執行体制を整備し、生産部門・営業部門の技術革新を実現し、業績の向上をめざしてまいります。

平成24年12月期通期の連結業績予想の修正（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	953,000	32,000	33,000	14,000	63.77
今回修正予想 (B)	953,000	28,700	29,700	12,400	56.48
増減額 (B-A)	—	△3,300	△3,300	△1,600	—
増減率 (%)	—	△ 10.3	△ 10.0	△ 11.4	—
(ご参考) 前期連結実績 (平成23年12月期)	932,794	28,677	29,625	8,023	36.54

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,682	76,345
受取手形及び売掛金	94,923	80,958
商品及び製品	10,002	10,601
仕掛品	654	1,079
原材料及び貯蔵品	8,202	8,019
繰延税金資産	3,408	2,970
その他	12,812	13,225
貸倒引当金	△755	△703
流動資産合計	203,930	192,498
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	324,969	329,491
減価償却累計額	△236,671	△241,902
建物及び構築物(純額)	88,298	87,589
機械装置及び運搬具	416,803	424,374
減価償却累計額	△345,235	△354,216
機械装置及び運搬具(純額)	71,568	70,157
工具、器具及び備品	25,847	26,122
減価償却累計額	△22,440	△22,833
工具、器具及び備品(純額)	3,406	3,289
土地	111,913	112,551
リース資産	27,106	29,966
減価償却累計額	△9,871	△13,543
リース資産(純額)	17,235	16,422
建設仮勘定	3,513	3,444
有形固定資産合計	295,934	293,454
無形固定資産		
のれん	17,875	17,165
その他	13,757	14,325
無形固定資産合計	31,632	31,490
投資その他の資産		
投資有価証券	39,359	40,075
長期貸付金	1,571	579
繰延税金資産	26,510	25,903
その他	38,482	37,474
貸倒引当金	△3,564	△2,798
投資その他の資産合計	102,360	101,234
固定資産合計	429,927	426,179
資産合計	633,858	618,677

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	74,103	66,975
短期借入金	59,833	58,630
リース債務	4,880	5,504
1年内償還予定の社債	1,234	1,234
未払法人税等	8,008	2,754
未払費用	33,458	30,736
賞与引当金	3,907	10,332
販売促進引当金	931	625
店舗閉鎖損失引当金	12	17
資産除去債務	22	9
その他	33,338	28,989
流動負債合計	219,731	205,808
固定負債		
社債	4,933	3,804
長期借入金	42,355	36,543
リース債務	12,671	11,723
退職給付引当金	82,365	85,155
役員退職慰労引当金	3,233	3,295
債務保証損失引当金	1,377	—
資産除去債務	3,745	3,895
その他	11,055	10,458
固定負債合計	161,737	154,875
負債合計	381,469	360,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,676	9,676
利益剰余金	205,414	210,337
自己株式	△722	△756
株主資本合計	225,381	230,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,840	7,715
繰延ヘッジ損益	△2	△2
土地再評価差額金	—	45
為替換算調整勘定	△292	△190
その他の包括利益累計額合計	6,544	7,567
少数株主持分	20,462	20,154
純資産合計	252,388	257,992
負債純資産合計	633,858	618,677

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	686,791	703,395
売上原価	436,436	448,382
売上総利益	250,355	255,013
販売費及び一般管理費	230,163	236,770
営業利益	20,191	18,243
営業外収益		
受取利息	61	48
受取配当金	487	448
固定資産賃貸料	421	435
持分法による投資利益	595	562
雑収入	880	794
営業外収益合計	2,446	2,290
営業外費用		
支払利息	1,591	1,355
雑損失	463	393
営業外費用合計	2,055	1,748
経常利益	20,582	18,784
特別利益		
固定資産売却益	6	6
債務保証損失引当金戻入額	29	1,006
投資有価証券売却益	46	0
その他	6	88
特別利益合計	88	1,101
特別損失		
固定資産除売却損	1,148	1,159
震災関連費用	2,552	200
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,696	—
投資有価証券評価損	734	258
店舗閉鎖損失	145	170
その他	359	171
特別損失合計	6,637	1,960
税金等調整前四半期純利益	14,033	17,925
法人税等	8,339	9,087
少数株主損益調整前四半期純利益	5,693	8,838
少数株主利益	75	465
四半期純利益	5,618	8,372

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,693	8,838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△443	876
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	108	107
持分法適用会社に対する持分相当額	3	52
その他の包括利益合計	△328	1,036
四半期包括利益	5,365	9,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,291	9,394
少数株主に係る四半期包括利益	73	479

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	630,310	50,762	5,718	686,791	—	686,791
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,755	4,413	19,270	28,439	△28,439	—
計	635,066	55,176	24,988	715,231	△28,439	686,791
セグメント利益又は損失(△)	18,926	△228	892	19,591	600	20,191

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額600百万円は、セグメント間取引の消去であります。
2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	646,569	50,729	6,096	703,395	—	703,395
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,595	4,951	21,868	31,415	△31,415	—
計	651,164	55,680	27,965	734,810	△31,415	703,395
セグメント利益又は損失(△)	17,352	△506	899	17,746	496	18,243

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額496百万円は、セグメント間取引の消去であります。
2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 販売実績

(単位：百万円)

セグメントの 名称	区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	前年同期比
食品事業	食 パ ン	70,907	71,026	100.2%
	菓 子 パ ン	236,072	242,829	102.9
	和 菓 子	48,052	48,280	100.5
	洋 菓 子	80,704	81,528	101.0
	調理パン・米飯類	82,196	88,482	107.6
	製菓・米菓・その他商品類	112,376	114,422	101.8
	食 品 事 業 計	630,310	646,569	102.6
流 通 事 業	50,762	50,729	99.9	
そ の 他 事 業	5,718	6,096	106.6	
合 計		686,791	703,395	102.4

4. 参考資料

(1) 平成24年12月期第3四半期の個別業績 (平成24年1月1日～平成24年9月30日)

①個別経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	468,608	1.9	12,086	△15.5	13,912	△12.5	8,485	18.8
23年12月期第3四半期	459,888	1.0	14,302	10.0	15,903	10.8	7,140	△4.0

②個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
24年12月期第3四半期	428,437	228,836
23年12月期	444,821	222,822

(注) 個別業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 平成24年12月期第3四半期 個別販売実績

(単位：百万円)

品 種 別	前第3四半期 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)		当第3四半期 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
	食パン	70,337	15.3%	70,414	15.0%	76
菓子パン	222,807	48.4	229,813	49.0	7,006	103.1
和菓子	47,779	10.4	48,009	10.3	230	100.5
洋菓子	58,178	12.7	58,365	12.5	186	100.3
調理パン・米飯類	28,590	6.2	29,549	6.3	959	103.4
製菓・米菓・その他商品類	32,195	7.0	32,455	6.9	260	100.8
合計	459,888	100.0	468,608	100.0	8,720	101.9

(3) 平成24年12月期第3四半期 主要子会社実績

(単位：百万円)

	売上高				営業利益			
	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
(株)サンデリカ	59,872	66,213	6,341	10.6%	1,860	1,976	116	6.2%
(株)不二家(連結)	61,020	62,621	1,600	2.6	△256	185	441	—
ヤマザキ・ナビスコ(株)	25,135	25,699	564	2.2	1,299	1,348	49	3.8
(株)ヴィ・ド・フランス	22,899	23,754	855	3.7	△130	254	384	—
(株)東ハト	17,864	18,159	295	1.7	1,392	933	△459	△33.0
(株)デイリーヤマザキ	55,176	55,680	504	0.9	△228	△506	△277	—